

3月1日より24時間対応

昭和伊南総合病院 血液・体液曝露事故後の受け入れについて

受診される場合は事前にご連絡をお願いします

- ・電話で「院外の医療従事者の針刺し受診希望」と連絡する
- ・診療情報提供書をFAXする

電話：0265-82-2121（代表） FAX：0265-81-5519（地域連携室直通）

受診の方法は以下の通りです

① 検査と治療を希望する場合

- ・曝露源の採血検体（生化学5ml）を持参する
- ・曝露源の採血検体を持参できない場合は、曝露源の患者さんと曝露者が一緒に受診する（令和8年2月末までは、HBS抗体のみ結果が遅くなる可能性があります）

② HIV感染症予防内服のみを希望する場合

- ・曝露源と曝露者の採血結果がわかるものを持参する

③ HBIG:高力価免疫グロブリン投与のみを希望する場合

- ・原則、平日昼間の受診とする
なお、曝露から48時間以内に平日受診ができない場合は、救急外来で対応可能
- ・曝露源と曝露者の採血結果がわかるものを持参する

初回受診後について

当院では初期対応を実施しますので、その後は各医療機関でのご対応をお願いします。

また、HIV感染症予防内服が必要となった場合は初回の抗HIV内服薬を処方しますが、継続治療の場合はエイズ治療拠点病院へ紹介させていただきます。

なお、受診に関する請求書は検査結果報告とともに後日曝露事故発生医療機関に送付します。

血液・体液曝露についてご不明な点などございましたら、感染対策室までご連絡ください。